

令和6年度 よく学び 心ゆたかに やりぬく子



開校21年目

新座小だより 5月号

〒352-0006 埼玉県新座市新座3-4-1
TEL 048-478-2760 FAX 048-482-6791
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

令和6年5月1日
児童数：284名



相手の気持ちを考えて行動する

つつじが美しい季節になりました。今年は職員玄関前のつつじが見事に花を咲かせ、来訪者の心を和ませてくれています。こんなに満開なのは私がこの学校に赴任してから初めてです。聞くと、農業支援さんが色々と調べて下さり、タイミングを見計らって思い切って伐採してくださったおかげで、今年は見事な花を咲かせたとのこと。こぶし門から入った空間がぱあっと明るくなり、良い環境だと思いました。尽力いただきありがとうございました。



5月のお話朝会では「相手の気持ちを考える」という話をいたしました。全校児童と私が勝てるように出す「後出しじやんけん」を行いました。じやんけんでわざと自分が負けるのは思った以上に難しいものです。なぜ難しいかというと、そういうじやんけんに慣れていないこともあります。何より「一度相手のことを考えてから出さなければいけない」ということが大きいと思います。相手のことを考えて行動するということは、普段からそういう視点で生活していないとなかなか難しいものです。しかし、とても大切なことだと思っています。高齢者に席を譲ったり、いじわるをしている子に注意をしたりと、相手を慮って行動することは、時として勇気のいることでもあります。そうした話をした後、学校では1年生を迎える会を

校長 浜田 祐加

行いました。この行事は、子どもたちの相手の気持ちを考えた優しさや温かさがいっぱいいつまつた行事になりました。児童も教師も笑顔があふれる素晴らしい1時間になりました。



新年度が始まり1か月が経ちましたが、登校時、班長さんは後ろにいる1年生を意識しながらゆっくり歩いてくれています。他にも、高学年の何気ない行動や言葉に優しさを感じる場面もあり、そんな様子を見ていると、児童の大きな成長を感じるとともに、本校の良き校風が創られつつある予感も感じます。

「心は見えないけれど心遣いは見える」――

以前CMで使われた有名な言葉です。子どもたちには心遣いのできる大人になって欲しいと思います。そして、「ありがとう」と感謝の言葉を伝えることを通して、優しさが循環する学校を創っていきたいと思います。